

## 検討課題に対する第2専門委員会委員の検討状況・方向性

### 2 社会の変化と多様な進路志望に対応する学科・コース等の在り方

資料1

検討課題	検討状況・方向性	青森県高等学校長協会の意見
<p>社会等の変化や今後についての共通認識</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会の変化</li> <li>・企業の変化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青森県を含め地球規模のグローバル経済の中にある中で、日本の暗黙の了解という部分がなくなり計算と交渉のビジネスライクな社会になっている。</li> <li>・高齢社会に入っているので、青森県も人口が減少する時代を迎えている。</li> <li>・産業構造の変化により、人間として最低限のルールをベースに、交渉・計算しながら仕事をして行く人間が増えるだろう。</li> <li>・言葉では「産業構造の変化」となるかもしれないが、根本的なものは変わっていない。</li> <li>・小・中学校でゆとり教育を実施した結果、やや安易に流れる面が出てきている。</li> <li>・若年層での離職率が高いのは、入口と出口が旨く繋がっていないからではないか。</li> <li>・フリーターでも飯が食べれる世の中が逆に子ども達に悪影響を与えている。この責任は学校に求めるのではなく、親をなんとかしてはいけない。</li> <li>・人材育成は入社してからでもできるので、高校や大学を卒業して入社してくる人に即戦力を求めているのではない。</li> <li>・以前は技術的な事も重要な要素だったが、最近はスペシャリストとしての求人は上級の学校からで、高校生には指導された時に素直に「はい」と言えて、言われた事を実行できるような人柄的な事を求めている。</li> <li>・課題発見能力、課題解決能力、集団の中で自己の役割を自覚し共同で物事を解決していく、そういう社会人として色々な場面で活躍できるような識見が求められている。</li> <li>・企業にしてみれば、高卒だろうが何だろうが即戦力が欲しい。</li> </ul>	
<p>学科・コース等の今後の方向性</p> <p>(ア)各学科・コース及び系列の検証</p>	<p>【高校全般】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・産業構造や社会の変化によって高校生が働けなくなったのではなく、高校生全般に対する、だらしがない、挨拶ができない、一般常識がない、といった見方により、高校生とは一緒に働けないと思われる。</li> <li>・高校生は駄目だという社会の評価を挽回するためには、全ての高校生が基本的な教科を学び、しつけ、挨拶、時間を守る事、目的意識、勤労観や職業観を身に付ける必要がある。</li> <li>・進学校以外は、ビジネススクール的な部分を必要とする。</li> <li>・こういう仕事に就きたいと自覚し始める時期がかなり遅いという実感を持っている。中学校の時点で方向性を決めて、高校を卒業したらすぐ仕事に就ける状態でないといけない。</li> </ul>	

## 2 社会の変化と多様な進路志望に対応する学科・コース等の在り方

検討課題	検討状況・方向性	青森県高等学校長協会の意見
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ニートや離職を防ぐには、学校が全てを教えるのではなく、インターンシップ等で実際の社会を重視し普段から常に社会と接触する経験を持つ必要がある。</li> <li>・ 離職率が高いので、キャリアカウンセリング等の職業教育が大事ではないか。</li> <li>・ 生徒の進路志望の多様性を重視して特色ある学科の設置を行ったと思うが、あまりに生徒の進路志望の多様性ばかりを考えてもいけないのではないか。基礎・基本をしっかり勉強させる事が全ての高校に課せられた課題ではないか。</li> <li>・ 県の地域戦略や特色に即した学校教育も必要ではないか。</li> <li>・ 急がせられ、選択を迫られているという印象がある。</li> <li>・ 総合学科等、選択するメニューがものすごく多く、親も子どもも分かりにくいのではないか。</li> <li>・ 大学全入の時代に、大学進学率の向上を目標とする事自体が正しいのか。</li> <li>・ スペシャリストを養成するという社会の要請がある一方で、ジェネラリストとして基礎・基本を大事に育て、それから進路を決めて行く方向もあるのではないか。</li> <li>・ 今の高校生は、同輩で社会に出ている人が少ないので、社会に関する情報が集まらない。</li> <li>・ 今の子ども達は目的意識を持ちしっかりしている子もいる。</li> </ul> <p>【普通高校】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教師や保護者が思うほど、生徒達には大学進学に対する強い意識はなくなっている</li> <li>・ 進路指導をきちんとしないと次へつながっていかない状況がある。</li> <li>・ 普通高校においても職業教育、挨拶、協調性、基本的な人間性・社会性を教えるべき。</li> <li>・ 全日制普通高校で学年1学級のみ存在する英語科、人文科、理数科等については生徒が入学時には選び切れていない等の理由で、機能していない部分がある。</li> <li>・ スポーツ科学科以外は将来的に廃止し、1校に集約する。</li> </ul> <p>【総合高校】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分の将来がよく分からない生徒が多く入学してくるので、「産業社会と人間」やインターンシップを通じて自分の将来像や夢や生き方について考えさせる事ができる非常によい仕組みだ。</li> <li>・ 学級数が少ない場合は教員数が少なく、思うように選択科目をたくさん設定できない難点がある。</li> </ul>	<p>町村部の普通科はコース制をとるとしたら、専門性を高めるようにするか、多少選択科目を増やすことで対応し、廃止してはどうか。</p> <p>理数科、外国語・英語科については、国際化、情報化、科学技術の発展の中で、社会や経済のグローバル化が急速に進展し、異文化・異文明との共存や持続可能な発展に向けての国際協力が求められるとともに、人材育成面での国際協力も加速しており、理数科を基盤とする科学技術教育や外国語教育などは、学校教育において重視して取り組むべきものであることから、設置している学校においてはさらに充実させるとともに、未設置の地域については設置を検討するとともに、定員に達しない英語科については振興・充実について検討する必要がある。</p> <p>人文科、理数科、英語科、(外国語科)等で、志願倍率が定員に達しないところは、存廃を含めて特色ある学科のあり方を検討する必要がある。</p> <p>総合学科高校は、各校とも総合学科に改編される前と比較すると進路実績面での成果が見られるものの、進学では普通科に、就職では専門学科に水をあけられている現状から、再編も含めて見直し、生徒のニーズに対応した系列の充実を図るべきである。</p>

## 2 社会の変化と多様な進路志望に対応する学科・コース等の在り方

検討課題	検討状況・方向性	青森県高等学校長協会の意見
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 選択科目の多い単位制普通高校的な役割であったり、生徒が自由に科目選択するのは難しいといった状況が見られ、理念・特徴を十分に活かせていない。</li> </ul> <p>【職業高校全般】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 昔は職業高校はスペシャリストを育成する事が使命だったが、産業構造の変化により高校卒業後に即戦力という事は難しくなった。</li> <li>・ 最近は専門教科を学んで、更に上級の高等教育を学ぶ生徒が増えているので、その土台を作るのが専門高校の役割ではないか。</li> <li>・ 進学者は増えているが全員が進学する訳ではないので、労働の価値・意義、目的意識を植え付けるキャリア教育に力を入れている。</li> <li>・ 青森には学校で培った能力を活かす事ができる職場がない。</li> <li>・ 職業高校の学科改編は必要だが、普通高校だけを増やして行くという流れはおかしいのでは。</li> </ul> <p>【農業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現状としては、農業高校を卒業してすぐに農業自営する事は無理があり、営農大学校や研修施設へ行って更に勉強してから就農するように勧めている。</li> <li>・ 各学校で学科名が異なるものでも、教育内容と学科のつながりで関連付け分類できるものがある。</li> <li>・ 地域の農業の担い手育成と、農業分野に固有の価値観や勤労観を有する人材の育成が目標であり、地域の農業形態、志望者、適切な学科やコースについて、その在り方を検討し方向性を出し、大胆な学校の統廃合を含めた学科の再編が必要である。</li> </ul> <p>【工業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2007年問題という事で日本が持っていた技術が脅かされているが、やはり日本は技術立国であるので、必要な人材を輩出するためには教育の力が必要だ。</li> <li>・ 日本の産業が復活しつつあり、県も企業誘致をしている中で、やはり受け皿となる人材は県の中で育成して行く必要がある。</li> <li>・ 現在は工業高校で学んだ内容が、現場ですぐに役立つ事はほとんどなくなり、むしろ素直な人間性や物づくりの精神が求められるようになった。</li> </ul>	<p>農業・工業・商業・水産・家庭に関する専門学科については、技術革新や社会の進展とともに、生徒や産業界のニーズ等と必ずしも合わないところが見受けられるので、高校卒業後の進路状況等も踏まえ、学科や系列の整理・統合を考えるべきである。</p>

## 2 社会の変化と多様な進路志望に対応する学科・コース等の在り方

検討課題	検討状況・方向性	青森県高等学校長協会の意見
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大学受験の勉強をさせるための高校だけでなく、特色ある学校や技術者を育てる学校において、実力を付けさせ自信を持って社会へ出させるという視点も必要だ。</li> <li>・ 就職が確保されているという利点はあるものの、進学者が増え進路先も多様になっている状況においては、専門的な知識を早期より学び将来のスペシャリストとして育てる事が重要ではないか。</li> </ul> <p>【商業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ かつては商業高校からは、金融機関、証券会社、ソフトウェア会社へ就職が決まっていたが、最近ほとんどそういう会社へ入る事ができず、専門教育を受けながらも将来の道が開けないのが現状。</li> </ul>	